

5月中旬

元職員の百合子先生に植え方を教えてもらいながら種いもを植えました。



「看板があると何の野菜かみんなわかるかも！」とひらめいた子どもたち。何がどこに植えてあるかわかるように看板も作ったね！

穴を掘り、大人の長靴1個分位の間をあけて…



「ここでいい？」



6月

芽が出るとあっという間に葉が大きくなりました。

「水やりたい」

「いっぱいお水飲んでね」

暑さの中、進んで水やりしながら自分まで濡れていた子も…



「もっと下にあるんじゃない？」

8月後半

待ちに待った収穫！！

暑さに負けず、友だちと競いながら夢中でじゃがいもを探す子どもたち。



「このへんありそう！」



まるで宝探しをするかのように、大きなじゃがいもを見つけると「あった！」「ゲット!!」と大喜び♪ 大小さまざまな形のじゃがいもがたくさんとれました。

「ほら、においかいでみて？」

茹でじゃが



皮をむいていると… 「じゃがいものにおいしてきた」と年下児に教えてあげる姿にホッコリ♡

収穫したじゃがいも食べよう!!

年下児の身支度お手伝い♡



「つけてあげるよ」「うごかないでね」



カレーライス

水あそび中にも…

「じゃがいも食べたい！」さっそく洗って給食の先生に茹でてもらって食べました。



フライドポテト



「ポテトまだ？」
「プツプツ音する！」
「三ツ矢サイダーみたい」

5月、野菜の苗、種いも植えから始まった畑活動。水やり、草むしり、観察をしながら「いつ掘るの?」「じゃがいもまだ?」と収穫する日を楽しみにしていました。そして収穫当日、長ズボン、長靴、首にはタオル、最後に軍手をつけて準備万端! さくら組が中心となり、じゃがいもを掘り当てるたびに大きな歓声があがっていましたよ。

畑の活動を始めた時から「カレー作りたい」の声が多かったので、収穫したじゃがいもを使ってさっそくクッキング。年下児の身支度を手伝ったり、やり方を教えてあげたりと、年上であることの自覚をもち、お兄さん、お姉さんぶりを発揮する子どもたちの姿に成長を感じたところです。優しい気持ちや相手を思いやる気持ちなど、子どもたちの“心”が育っていることも嬉しく思います。カレーの他に、“茹でじゃが”“フライドポテト”にして食べると「うま!」「マックのポテトよりうまい」と味は格別。年下児にもおすそ分けしてペロリと完食でした。自分たちで育てた野菜に触れ、クッキングしたことで、食への関心が高まったのではないかと思います。 渡部 和美